

必要項目

- (1) 希望発表形式 (ポスター発表、口演発表のいずれか。口演発表の場合は動画使用予定の有無。ご希望がない場合はその旨ご記載ください。)
- (2) 演題名 (なるべく簡潔にしてください。)
- (3) 出題者氏名・ふりがな・所属 (医療機関名および地区医師会、専門医会)
- (4) 共同発表者名・所属
- (5) 項目分類*1 (1つもしくは2つ選択。2つ選択の場合は優先順位をつけてください。)
- (6) COI (利益相反状態)*2の開示
- (7) 抄録本文 (全角350文字以内)

*1 項目分類

- | | | | |
|------------|-------------------|-------------|---------|
| A. 循環器系 | F. 免疫・アレルギー系 | K. 耳鼻咽喉科系 | P. 医療連携 |
| B. 消化器系 | G. 腎尿路系 | L. 運動器系 | Q. その他 |
| C. 内分泌・代謝系 | H. 脳神経・精神系 | M. 皮膚・形成外科系 | |
| D. 呼吸器系 | I. 産婦人科系 (周産期を含む) | N. スポーツ医学 | |
| E. 血液系 | J. 眼科系 | O. 在宅医療 | |

*2 COI (利益相反状態) について

筆頭発表者は、発表演題に関するCOIの開示を行ってください。演題登録時に、登録時から遡って過去2年以内の利益相反の有無について申告いただくとともに、演題発表時、口演発表においてはタイトルスライドに、ポスター発表においては、ポスターの最後にCOIについて開示してください。

なお、利益相反の有無にかかわらず、開示いただく必要がございますので、よろしくお願いたします。

COI基準項目

① 報酬額	1つの企業・団体から年間100万円以上
② 株式の利益	1つの企業から年間100万円以上、あるいは当該株式の5%以上保有
③ 特許使用料	1つにつき年間100万円以上
④ 講演料	1つの企業・団体からの年間合計100万円以上
⑤ 原稿料	1つの企業・団体から年間合計100万円以上
⑥ 研究費・助成金などの総額	1つの企業・団体からの研究経費を共有する所属部局 (講座、分野あるいは研究室など) に支払われた年間総額が200万円以上
⑦ 奨学 (奨励) 寄付などの総額	1つの企業・団体からの奨学寄付金を共有する所属部局 (講座、分野あるいは研究室など) に支払われた年間総額が200万円以上
⑧ 企業などが提供する寄付講座	企業などからの寄付講座に所属している場合
⑨ 旅費・贈答品などの受領	1つの企業・団体から年間10万円以上

抄録のプログラム掲載例

診々連携によるPEGの試み

○京都太郎(△△病院)、京都次郎、□□□□(△△病院△△科)、京都三郎(△△病院外科)、□□□□(同内科)、□□□□(同△科)、京都花子(△△訪問看護ステーション)

中枢神経疾患などによる嚥下障害を持った患者の在宅医療に際して、胃瘻造設による栄養の補給の必要な例がある。私達は在宅医療の主治医の依頼の下に、外来において経皮的内視鏡的胃瘻造設術(PEG)を行い、即日主治医のもとに返す試みを行っている。

.....話題の豊富な医療行為である。未だ例数が少ないが、今後、かなり良好な成果を上げ得るものと期待している。

(○○医師会)

京都府医師会「学術賞」について

当日発表の演題を論文にまとめて「京都医学会雑誌」にご投稿いただきますと、**学術賞**の対象論文となります。**また、掲載された全論文に投稿奨励賞が授与されます。**学術賞には、少ない症例報告でも優秀な論文に与えられる**症例報告賞**や若手(卒後5年目まで)を対象とした**新人賞**も設けております。

詳細および雑誌投稿・編集規定などは学術生涯研修課までお問い合わせください。

第45回 京都医学会 演題募集

京都府医師会では生涯研修と会員相互の交流をはかる場として、本年も下記の日程により、「第45回京都医学会」を開催します。会員各位の積極的なご参加と一般演題の部(午前中)へのご応募をお願いします。一般演題については特に統一したテーマを設けておりません。幅広い領域からの演題応募をお願いします。



京都医学会のポスター発表は、視覚効果が高く、毎年熱のこもった討議や質疑が行われています。

特長

- ① 終日掲示しますので、多くの参加者に閲覧していただけます。
- ② 発表者と聴衆が間近で意見交換できます。

第45回 京都医学会

とき 令和元年(2019年) 9月29日(日) 午前9時～午後3時30分
ところ 京都府医師会館

午前	一般演題 (ポスター発表・口演発表)	9:00 ~ 11:50
午後	学術賞・学術研鑽賞表彰	12:00 ~ 12:15
	特別講演・シンポジウム	12:15 ~ 15:30

特別講演 「21世紀のAI(仮)」
12:15~13:15
演者/鳥根大学医学部医療情報学 教授 津本 周作氏

シンポジウム 「地域で考える災害医療」
13:15~15:30
統括者/京都府医師会 救急・災害担当理事 高階謙一郎氏
シンポジスト/山城南保健所 所長 三沢あき子氏
京都中部総合医療センター 副院長 計良 夏哉氏
医仁会武田総合病院 救急医療センター センター長 ... 中谷 壽男氏
山科医師会 理事 松田 義和氏